平成28年２月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年12月25日

上 場 会 社 名　株式会社ジーンズメイト　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7448　URL http://www.jeansmate.co.jp
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）冨澤 茂
問合せ先責任者　（役職名）代表取締役専務　（氏名）砂田　真一　(TEL) 03(5738)5555
四半期報告書提出予定日　平成27年12月28日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成28年２月期第３四半期の業績（平成27年２月21日～平成27年11月20日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年２月期第３四半期	6,693	△5.3	△487	－	△455	－	△339	－
27年２月期第３四半期	7,068	△1.6	△57	－	△33	－	△198	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
28年２月期第３四半期	△31.07	－
27年２月期第３四半期	△18.19	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年２月期第３四半期	6,736	4,952	73.5
27年２月期	6,886	5,294	76.9

（参考）自己資本　28年２月期第３四半期　4,952百万円　27年２月期　5,294百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
27年２月期	－	0.00	－	0.00	0.00
28年２月期	－	0.00	－		
28年２月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成28年２月期の業績予想（平成27年２月21日～平成28年２月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,260	△5.7	△670	－	△630	－	△570	－	△52.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年２月期３Ｑ	12,651,466株	27年２月期	12,651,466株
②　期末自己株式数	28年２月期３Ｑ	1,726,369株	27年２月期	1,725,605株
③　期中平均株式数（四半期累計）	28年２月期３Ｑ	10,925,491株	27年２月期３Ｑ	10,926,619株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実行中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料３ページ「（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
(継続企業の前提に関する注記) …… 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期累計期間(平成27年２月21日から平成27年11月20日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に企業収益や雇用情勢の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、個人消費については物価上昇への懸念などもあり先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境のもと、当社では引き続き業績の回復と安定成長への基盤づくりに向けて取り組んでまいりました。

商品面におきましては、春秋物商品ではパーカーをはじめとした羽織り物全般、夏物商品では汗じみが目立たない加工を施した「ゼロステイン」シリーズや、専門学校生からデザインを募って商品化したプリントＴシャツ類が全体を牽引いたしました。また、機能素材を使った５ポケットのボトムス類やショートパンツ類も好調に推移した一方で、ベーシックタイプの５ポケット類やシャツ類は期間を通して前年を下回る水準で推移するとともにアウターやマフラーなどの防寒商品群の立ち上がりも苦戦を強いられました。

販売面におきましては、従来からの雑誌広告や新聞折込広告を継続しながら、FacebookをはじめとしたSNSへの情報発信を強化してまいりました。また、クーポンサイトへの掲出にもチャレンジし、新規顧客の開拓や休眠顧客の掘り起こしにも努めてまいりました。さらには、外国人旅行者への対応として外国人向けSNSでの情報発信や免税販売を10店舗まで拡大し、インバウンド需要への対応を進めてまいりました。

また、現在展開しているプライベートブランド(「Blue Standard」と「innocent blue」)については、より多くのお客様に触れていただく機会を増やすことを目的に初の試みとして、株式会社i-Flowが運営するサーフ系セレクトショップ「LB/S(エルビーエス)」(リアル店舗２店舗と通信販売「ZOZOTOWN」)において直営店以外での販売を開始いたしました。

出退店におきましては、「Blue Standard」４店舗と「WH market(ダブリューエイチマーケット)」１店舗の計５店舗を出店し、「JEANS MATE」、「Happy Door」各１店舗の計２店舗を退店したことにより当第３四半期会計期間末の総店舗数は100店舗(うち24時間営業店舗は17店舗(すべて「JEANS MATE」))となりました(業態内訳は下表参照)。

以上の結果、売上高66億93百万円(前年同四半期比5.3％減)、営業損失４億87百万円(前年同四半期は営業損失57百万円)、経常損失４億55百万円(前年同四半期は経常損失33百万円)となり、特別利益を３億12百万円、特別損失を１億60百万円計上したこと等により四半期純損失３億39百万円(前年同四半期は四半期純損失１億98百万円)となりました。

業態別店舗数

業態	店舗数	出店地域（都道府県）
JEANS MATE	77店舗	東京 神奈川 千葉 埼玉 静岡 愛知 大阪 兵庫 広島 山口 福岡
ワケあり本舗	11店舗	東京 神奈川 千葉 愛知 三重 大阪 兵庫
Blue Standard	６店舗	埼玉 静岡 大阪 山口 福岡
Happy Door	２店舗	神奈川 広島
STREET	２店舗	千葉
comfort blue	１店舗	東京
WH market	１店舗	福岡

（２）財政状態に関する説明

(資産)

当第３四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ１億49百万円減少し、67億36百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ81百万円減少し、39億47百万円となりました。これは主に商品が８億32百万円増加しましたが、有価証券が８億91百万円減少、現金及び預金が１億97百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ68百万円減少し、27億89百万円となりました。これは主に敷金及び保証金が52百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第３四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ１億92百万円増加し、17億84百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ２億17百万円増加し、12億81百万円となりました。これは主に未払金が３億16百万円減少しましたが、買掛金が５億50百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ24百万円減少し、５億３百万円となりました。

(純資産)

当第３四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ３億42百万円減少し、49億52百万円となりました。これは主に四半期純損失を３億39百万円計上したことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成27年９月18日の当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想を修正いたしました。当該予想に関する詳細は、平成27年12月25日に公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において営業利益31百万円となりましたが、当第３四半期累計期間において再び営業損失４億87百万円となりました。また、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましても前事業年度において81百万円のマイナスとなり、当第３四半期を含め継続してマイナスとなりました。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善すべく、商品力及び販売力の強化を中心に収益力の回復に取り組んでまいります。

① プライベートブランド商品の売上高アップによる売上総利益の確保

ナショナルブランド商品の販売を継続強化していく一方で、当社のプライベートブランドである「Blue Standard」(メンズ)、「innocent blue」(レディース)、「FORT POINT」(ユニセックス)の売上高構成比を高めることで、売上総利益の確保に努めてまいります。前事業年度では全商品売上のうち約20%を占めていましたが、当事業年度は30%を目標に取り組んでまいります。

② 情報発信の強化による集客力の増強

これまで実施してきたメールによる情報配信を強化していくとともに、FacebookをはじめとしたSNSの活用にも注力し、「今のジーンズメイト」を発信していくことで、既存のお客様はもちろんのこと、潜在顧客等に対する来店誘導施策を講じてまいります。

③ 売場提案力の改善等による店頭販売力の強化

それぞれの商品が持つデザインやクオリティなどの各種情報を確実にお客様に届けられる売場づくりを目指すとともに着用イメージなどを付加することでお客様に購買意欲を高めていただけるよう取り組んでまいります。

④ 新業態店舗の育成、確立

基幹業態である「JEANS MATE」をはじめ、「ワケあり本舗」、「Happy Door」、「Blue Standard」の各業態は一定の業績を残せておりますが、商業施設向けの「STREET」業態や前事業年度に出店した「comfort blue」業態においては十分な結果を残せていないことから、引き続き細部に至るまで検証し収益力の強化に取り組んでまいります。

⑤ インターネット通販の強化

これまで自社サイトでのみ実施していた通信販売において、前事業年度後半からは大手通販サイト「Amazon」への出店を開始し、着実に売上を伸ばすことができました。今後も販売体制の強化や販売網の拡大等を模索しながら、インターネット通販の売上拡大を目指してまいります。

⑥ 外国人旅行者への対応

急増している外国人旅行者に向けてSNSによる情報発信を継続していくとともに、来店客数の多い店舗では免税販売を行い、外国人旅行者の獲得を目指してまいります。なお、当第３四半期累計期間では、池袋本店や渋谷店をはじめ合計10店舗で免税販売を行っております。

上記を中心とした施策を講じながら収益力の回復に努めてまいりますとともに、今後の運転資金は十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成27年２月20日）	当第３四半期会計期間 （平成27年11月20日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	989,327	791,674
売掛金	128,994	222,975
有価証券	1,416,635	525,524
商品	1,386,955	2,219,581
その他	107,162	188,036
流動資産合計	4,029,076	3,947,793
固定資産		
有形固定資産	23,527	－
無形固定資産	3,862	－
投資その他の資産		
投資有価証券	1,101,959	1,110,378
敷金及び保証金	1,726,257	1,674,147
長期未収入金	172,800	171,900
その他	1,864	4,489
貸倒引当金	△172,800	△171,900
投資その他の資産合計	2,830,081	2,789,015
固定資産合計	2,857,471	2,789,015
資産合計	6,886,547	6,736,808
負債の部		
流動負債		
買掛金	215,504	765,676
未払金	701,334	384,870
賞与引当金	23,887	6,050
店舗閉鎖損失引当金	－	4,454
資産除去債務	4,428	62,687
その他	118,885	57,344
流動負債合計	1,064,040	1,281,085
固定負債		
資産除去債務	452,520	396,398
その他	75,621	107,023
固定負債合計	528,142	503,421
負債合計	1,592,182	1,784,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,812	2,015,812
資本剰余金	2,125,434	2,125,434
利益剰余金	2,411,870	2,072,360
自己株式	△1,260,065	△1,260,273
株主資本合計	5,293,051	4,953,334
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△519	△1,032
繰延ヘッジ損益	1,833	－
評価・換算差額等合計	1,313	△1,032
純資産合計	5,294,364	4,952,301
負債純資産合計	6,886,547	6,736,808

（２）四半期損益計算書

第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 平成26年２月21日 至 平成26年11月20日）	当第３四半期累計期間 （自 平成27年２月21日 至 平成27年11月20日）
売上高	7,068,884	6,693,959
売上原価	3,487,160	3,530,140
売上総利益	3,581,723	3,163,819
販売費及び一般管理費	3,639,101	3,651,036
営業損失（△）	△57,377	△487,217
営業外収益		
有価証券利息	16,245	13,129
受取賃貸料	16,110	16,154
営業補償金	－	12,000
その他	7,749	7,570
営業外収益合計	40,104	48,854
営業外費用		
賃貸費用	16,110	16,110
その他	340	731
営業外費用合計	16,450	16,841
経常損失（△）	△33,723	△455,204
特別利益		
違約金収入	－	312,000
特別利益合計	－	312,000
特別損失		
減損損失	129,275	155,219
店舗閉鎖損失	3,628	1,122
店舗閉鎖損失引当金繰入額	－	4,454
特別損失合計	132,904	160,796
税引前四半期純損失（△）	△166,627	△304,001
住民税	32,177	32,767
法人税等調整額	－	2,741
法人税等合計	32,177	35,508
四半期純損失（△）	△198,804	△339,509

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。